



# ななくに峠

〔教育目標〕 教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成

八王子市立七国中学校  
令和7年7月9日  
七国中だより  
7月号—1

## 命の大切さを共に考える

6月30日(月)「命の大切さを共に考える日」全校朝礼 校長講話より

みなさん。おはようございます。

今日はみなさんと「命の大切さ」について一緒に考えてみたいと思います。

皆さんにとって「命」とはどのようなものでしょう。と聞かれたら何と答えますか。年に一度、「命の大切さを共に考える」この日になるといつも頭に浮かぶ詩があります。「命」という題名の詩です。小学校の「特別の教科 道徳」の授業で、資料としても使われています。

### ～命～

命はとても大切だ 人間が生きるための電池みたいだ  
でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる  
電池はすぐにとりかえられるけど 命はそう簡単にはとりかえられない  
何年も何年も 月日がたってやっと  
神様から与えられるものだ 命がないと人間は生きられない  
でも 「命なんかいらない」  
と言って 命をむだにする人もいる  
まだたくさんの命がつかえるのに そんな人を見ると悲しくなる  
命は休むことなく働いているのに だから  
私は命が疲れたと言うまで せいっぱい生きよう

この詩は、5歳のときに発症した神経芽細胞種と5年半にも及ぶ闘病の末、11歳という短い生涯を終えた 宮越 由貴奈 さんの詩です。辛い、痛い治療を受けながら入院を繰り返す中で、楽しみにしていたのが院内学級だったそうです。入院治療中の子どもたちが通う病院内に設置された院内学級で、理科の時間に乾電池の実験を体験しました。そして、乾電池の実験を終えた後に書き上げたのが「命」という詩です。由貴奈 さんの亡くなる4か月前だったそうです。この「命」からは、病院の友達が亡くなったりする一方で、自ら命を絶ってしまうなど、命が失われているニュースを見て、「まわりの友達が生きたくても生きられないのに・・・」という悲しい訴えや命を電池に例えて、電池のように取り換えることができない命を、命ある限り精一杯生きようとする強い思いが伝わってきます。この詩は、「私は精一杯生きようとしています。みんなも精一杯生きてください。」という由貴奈さんのメッセージなのかもしれません。

さて、命とはどのようなものなのか。答えは浮かびましたか。みなさんの多くが、命は「かけがえのないもの」と答えたことと思います。「かけがえのない」とは、「それに代わるものが他にない」、「この上なく大切な」という意味です。命は一度失ってしまうと元には戻らず代わりになるものがない、唯一無二の存在なのです。

今日はこの後、道徳の時間に～生命の尊さ～、～よりよく生きる喜び～を中心とした授業を行います。ぜひ、命の大切さを先生方と一緒に考えて、深めてほしいと思います。

八王子市立七国中学校 校長 本田秀雄

6月30日（月）の1校時目（太陽学級は5校時目）に、全校朝礼の校長講話をうけて「命の大切さ」について道徳授業を行いました。1，2年生は学年統一テーマで学級ごとの道徳授業、3年生は体育館での学年道徳授業、太陽学級は校長講話の内容をもとに命の大切さについて道徳の授業を実施しました。

|      |                |
|------|----------------|
| 1年生  | ～いのちを考える～      |
| 2年生  | ～たったひとつのたからもの～ |
| 3年生  | ～愛しているよ カズ ～   |
| 太陽学級 | ～ 命 ～          |



## 2年 職場体験学習

7月2日（水）から7月4日（金）までの3日間、2年生「職場体験」が行われました。公共施設、幼児教育、技術職、小売店、教育施設、医療、福祉、卸売業、金融など、38の事業所に分かれての実習でしたが、緊張しつつもみんな真剣に取り組んでいました。働くことの意味や喜びと苦勞、将来の職業や生き方について考え、人と接するために大切な心構え、礼儀・言葉使いなどを学ぶ良い機会となりました。職場体験先として、本校の生徒を受け入れていただきました事業所の皆様方、ありがとうございました。感謝申し上げます。今後は、事後学習として職場体験新聞を作成し、グループごとの発表会を行う予定です。



## 1年生 いじめ防止プログラム

7月4日（金）5，6校時に、一般社団法人アンガーマネジメントジャパンの臨床心理士の方を講師としてお招きし、1年生対象のいじめ防止プログラム研修を実施しました。テーマは、『アンガーマネジメントについて』で、『アンガーマネジメントの専門家の講話を聞くことで、セルフコントロールを身につけ、他人の気持ちを考えながら他者と関わることを今まで以上に意識させる機会とする』という目的で行いました。講義の始めには今の気持ちチェックや、事例を体験した時にどんな気持ちになるのかなど自分自身の感情の整理を行いました。その後、『怒りの感情に対する正しい理解』や『心と体を落ち着かせる方法』など、日常生活に役立てられる内容を学ぶことができ、有意義な時間となりました。1年生にとって、中学校生活はまだ始まったばかりなので、今回得た学びを活かしてほしいです。



## 第1回地域清掃（緑化活動を含む）・討議会

7月5日（土）午前9時から青少対主催による地域清掃活動が行われました。当日は薄曇りの中、地域・保護者の方、生徒、児童を含め、多くのみなさん（164名）にお集まりいただき、七国地区の美化活動にご協力をいただきました。緑化活動も同時並行で行われ、七国中校内の花壇の整備にもご協力いただきました。清掃活動、緑化活動にご参加いただきました皆様、お疲れさまでした。また、午前10時から、七国小学校家庭科室において、南大沢警察署生活安全課の指導の下、「青少年が闇バイトに巻き込まれないように、地域社会にできることとは何か」をテーマにグループディスカッションを行いました。保護者目線で子供たちが長い夏休みを安全に過ごすために、何をすべきかを考える良い機会となりました。

